

岡崎嘉平太記念館開館10周年記念

「信と愛」の心を育てる
名曲コンサート



Kaheita Okazaki Memorial Hall

日時：2011年 9月 4日（日） 13:30～

場所：吉備中央町 ロマン高原かよう総合会館

主催：岡山県、吉備中央町、(財)岡山県郷土文化財団 岡崎嘉平太記念館

共催：(社)岡山県文化連盟

後援：岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、山陽新聞社

ピアニスト

岡崎 ゆ み



Profile

東京藝術大学卒業、同大学院修了、ピアノ専攻。13歳で羽鳥栄に師事し本格的にピアノを始める。その後、故谷泰子芸大名譽教授に師事しわずか5年で芸大に現役合格する。大学院修士課程2年目の1983年にハンガリー給費留学試験に最優秀で合格し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。Z・コーネル、F・シャンドールその他、マスタークラスにてゾルタン・コチシュ、オキサナ・ヤブロンスカヤ、ジョルジュ・シェベークに師事。1986年朝日新聞主催第6回「新人音楽コンクール」ピアノ部門に優勝。文部大臣賞を受賞。

帰国後、1989年にキングレコードよりデビューCDを発売、その後ソニーレコードからCDを発売、全国での公演および多数の企業の顧客へ向けたコンサートで演奏をする。

2004年より始まった和光堂プレゼンツ「ファミリー&プレマックスコンサート」は未就学児と妊婦に向けたユニークなコンサートとして全国各地で好評を博す。2005年にCD付き著書「クラシックを聴くと良い子が育つ」を上梓。発売後2週間で丸善本店(丸の内)人文・ノンフィクションの部、第8位にランクイン。

(財)ソニー教育財団評議員。2003年よりSony Music Artistsと契約。2007年より米国ワシントン州在住。当地の大学でアメリカ現代音楽と作曲を勉強し、またジャズ演奏をシアトルのジャズピアニスト、ダン・クラムリッチに、声楽をリーアン・キャンボスに師事。2009年帰国リサイタルを東京紀尾井ホールで開催し、ショパンピアノソナタ第3番をはじめとするクラシックピアノ曲に加え、声楽とジャズピアノを披露し会場を沸かせた。

日本演奏家連盟正会員、全日本ピアノ指導者協会正会員。
主なCD『ワルツな夜に』、『0才まえのコンサート』、『子守歌』

ボーカル

TIGER (岡崎嘉平太曾孫)



- 1998年 東京に生まれる。
- 2001年 ショーコスギインスティテュートで演技・アクションのレッスンを受ける。
- 2003年 クラシック音楽をお芝居で綴る「音符物語」で準主役。
東京の「ほくとびあ」、埼玉の「コピスみよし」等の公演に出演。
- 2004年 「音符物語」CD発売(アートデイズ)ライジングスタジオのオーディションに合格。演技と歌のレッスンを始める。
- 2008年 米国ワシントン州アニーライトスクールのミュージカル「Dr.Seuss〜Honk」でJ-Bird役を務める。
- 2009年 東京・紀尾井ホールでサンサーンスのアヴェマリアを歌う。
- 2010年 東京・オペラシティでカッチーニのアヴェマリア、Don't Stop Believingを歌う。フジTVドラマ「パーフェクトリポート」挿入歌を歌うSHUNYAのクリスマススペシャルライブにゲスト出演。

ピアニスト

鶴 旨 桃子



加茂川町立津賀小学校卒業。
吉備中央町立加茂川中学校卒業。
岡山県立高梁高等学校 家政科 卒業。
作陽音楽短期大学卒業。
卒業演奏会、岡山新人演奏会出演。
現在、くらしき作陽大学音楽学部3年在学。

Program

I 倉敷管弦楽団

スッペ作曲 「詩人と農夫 序曲」

II 岡崎ゆみフィーチャー 『ザ! ピアノ協奏曲』

チャイコフスキー作曲 ピアノ協奏曲 第1番 第1楽章

ラフマニノフ 作曲 ピアノ協奏曲 第2番 第1楽章

----- 休憩 (15分) -----

III シンガーTIGER (岡崎嘉平太曾孫) &

倉敷管弦楽団コラボレーション

ミュージカル「キャッツ」より「Memory」

「Danny Boy」

IV 岡崎ゆみソロリサイタル&岡崎嘉平太の思い出トーク

ドビュッシー作曲 「夢」

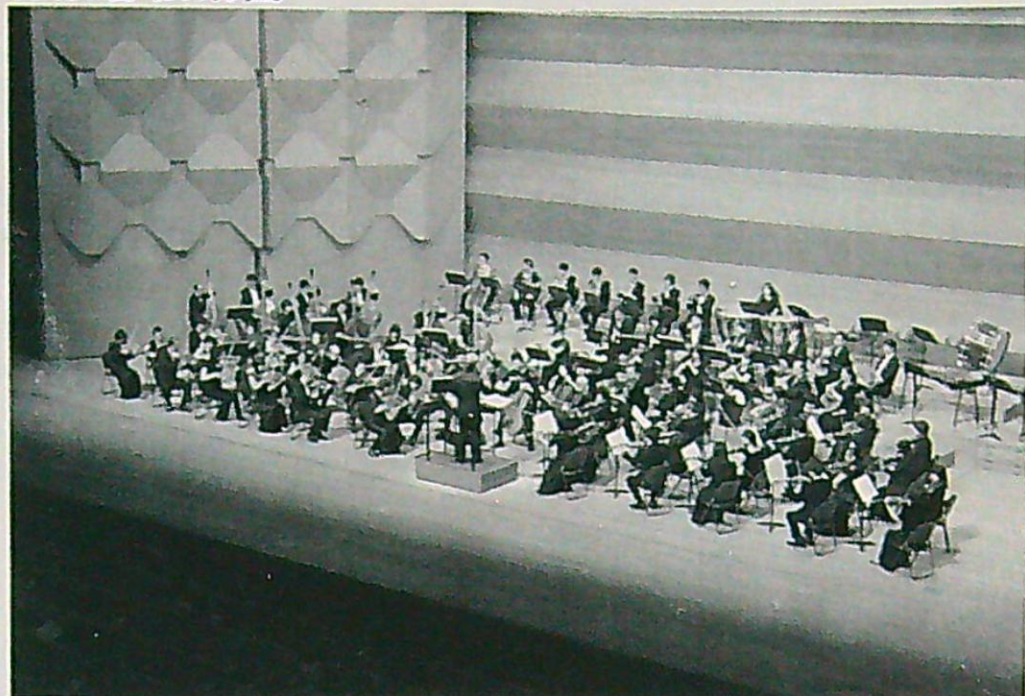
シューマン 作曲 「トロイメライ」

リスト 作曲 「愛の夢」

ショパン 作曲 「華麗なる大円舞曲」

Profile

倉敷管弦楽団

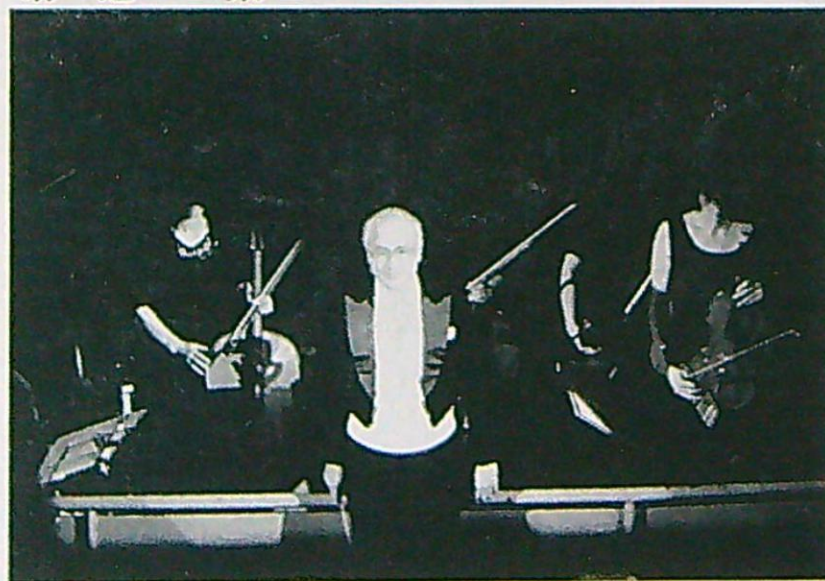


「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立され、今年で、37年目。年1回の定期演奏会では、国内外で活躍する著名な指揮者やソリストを招聘して、高いレベルの演奏をめざしている。また、倉敷地方における文化レベル向上に積極的に貢献。年1回の倉敷音楽祭には、毎回出演し、オペラ、ミュージカル、パレエ等の公演の出演、また、音楽祭のコンセプトにあわせた、趣向をこらしたコンサートを企画している。

本年3月には、北陸をテーマにした演奏会を開催して、大オーケストラのサウンドをきかせ、好評を得る。さらに、岡山県北などクラシック音楽に触れる機会が少ない地域にも出向き、コンサートを開催。このような活動が評価され、昭和57年に岡山県文化功労賞、昭和60年に倉敷文化連盟賞平成16年に三木記念助成金、平成18年に福武文化奨励賞を受賞する。

指揮者

菊池 とう 東



倉敷市玉島に生まれ、5歳よりヴァイオリンを始める。広島大学工学部発酵工学科卒業。在学中、広島市民交響楽団(現広島交響楽団)に入団しサブコンサートマスターを経験し73年帰岡。帰岡後倉敷にもオーケストラという要望に答え74年倉敷室内管弦楽団(現倉敷管弦楽団)を設立。以来現在まで36年にわたり同楽団の常任指揮者として、交響曲、管弦楽曲、協奏曲を中心にバロック音楽から映画音楽・ミュージカル・オペラと幅広いレパートリーをもって各地で演奏会を開催している。

毎年4月には蔵の中コンサートを行っている。99年より倉敷音楽協会会長を務め、児童音楽コンクールを開催し、倉敷を中心として児童の音楽レベル向上に寄与している。06年秋には長年の文化活動が認められ、倉敷市文化賞を受賞している。